

特別例会「じんじん」

記念講演会「絵本を通じた交流と町おこし」

梅雨も明けようとし、夏の盛りも目前です。

さて、今月の例会はいつもの例会と違います。と言っても運営体制のことで、作品は心が温くなるヒューマンドラマですので、ご安心ください。

この上映会の運営体制を説明します。通常の例会は、加古川シネマクラブが単独で運営委員が中心となって、会員だけが鑑賞するために作品選定から、会場準備、作品上映など全てを行っています。また、年に1回程度の特例会では、会員以外の一般の人も有料で鑑賞いただくこともありました。

今回の作品は、全国の市町村にあるまちづくり(まちおこし)の団体を主な対象としているため、配給先からの条件で、実行委員会形式での上映会を行う必要があり、例会候補でありながら、通常の例会としては選ばれていませんでした。

ところが、たまたま、**加古川総合文化センター**や**遊文庫**などの団体に、この話を相談したところ、上映会をやってみようということになり、いつもと違う実行委員会形式の上映会が実現したのです。遊文庫は、絵本の読み聞かせを中心に活動している市民グループの皆さんです。この映画が、絵本でまちおこしをして「絵本の里」として全国に知られるようになった北海道上川郡剣淵町を舞台にしたものであるため、現地に逝った方から剣淵町の絵本の活動のこともいろいろ教えていただきました。



例会のお知らせ

■名称／第73回例会『じんじん』

■日時／7月26日(土) ①AM 10:15-、②PM 1:00-、
③PM 4:00-、④ PM 6:30-

(記念講演会は、PM 3:15 から 40 分間)

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■主催／映画『じんじん』加古川上映実行委員会

共催／加古川総合文化センター、加古川シネマクラブ、遊文庫

後援／総務省、兵庫県市長会、加古川市、加古川市教育委員会、加古川市手をつなぐ育成会、はまのみや文庫

■その他／この例会は、特別例会として、一般の人も入場できます。

入場料金 一般／当日 1500 円(前売 1000 円)

小人・障がい者 800 円(当日のみ)

【例会作品データ】

■タイトル／じんじん

■監督／山田大樹

■企画／大地康雄

■出演／大地康雄、小松美咲、佐藤B作、中井貴恵、村田雄浩、中田喜子、小宮孝泰、宮田沙世、井上正大、絵沢萌子、若村麻由美、板尾創路、手塚理美

■データ／2013 年、日本、129 分、ドラマ／ヒューマン

■解説／「絵本の里」として知られる北海道上川郡剣淵町を舞台に、人の優しさや親子の絆を描いたハートフルドラマ。俳優の大地康雄が、「絵本の力」と「親子の絆」をテーマに企画し主演した作品。宣伝文句だけ見ていると教育映画のように感じる人もいますが、ヒトの優しさをテーマにしたドラマとしてみごとに完成した作品です。

宮城県松島に住む大道芸人の銀三郎にはひとり娘がいたが、娘が6歳の時に妻と別れ、その時から会うことを許されず、娘の思い出が止まっていた。ある日、幼なじみが経営する農場を訪れた銀三郎は、農業研修

にやって来た4人の女子高生と出会い、広大な自然や町の人々との交流の中で打ち解けていく。しかし、少女の中で、ただひとり、日下部彩香だけは心を開かずにいた。彼女には人に言えない秘密があったのだ。やがて、銀三郎は彩香の秘密を知った。そして・・・。

記念講演会のお知らせ

■名称／特別例会記念講演会

『絵本を通じた交流と町おこし』

■講師／笹倉剛(神戸親和女子大学教授)

■日時／7月26日(土) PM 3:15-PM 3:55

■場所／加古川総合文化センター大会議室

■受付／当日の特別例会(上映会)入場者は自由に聴講できます。

入会促進キャンペーン中

会員数の減少が続いています。5月23日現在で155名です。次の例会までに6名の退会連絡があったので、新入会者が少なければ150名となってしまいます。

何度も説明してきましたが、この会を安定して運営するためには、200名、最低限の例会上映活動だけでも180余名の会員と会費収入が必要です。さらに消費税増税に伴う支出増でもう少し厳しいところです。

前年度からの繰越金も9月例会で底をつき、このままだと、それ以降は赤字が続くことになり、年度末には11万円の赤字となる計算です。

収入を増やすため、会費値上げをすれば退会者を増やすことになりそうですし、自主上映会で収入を得ようとすると逆に経費が嵩んで赤字が増えそうですし、一時しのぎの適当な補助金も見当たらないし・・・、支出はこれ以上削れない状況だし・・・、という状況です。

多くの新規入会者があれば、すべては上手くいくのです。今のところ、会費収入を基本に、補助や好意は喜んで受けながら、会員が良かったと感じる作品を上映し続けることで、限界までやっていこうということになっています。

また、先月からは、入会促進キャンペーンとして明石シネマクラブとの例会相互乗り入れが始まりました。加古川と明石でそれぞれ隔月、つまり毎月、選ばれた映画を鑑賞する機会があるのです。

会員の皆さんには、映画好きのお知り合いに、チラシを渡してこの会のことを伝え、入会を考えてもらうよう、お声掛けいただきますようお願いいたします。

明石シネマクラブ例会に参加して

加古川と明石のシネマクラブの例会相互参加ができるようになったので、気になって6月18日の明石シネマクラブ例会『アンコール!!』(2012年、イギリス、94分)を見に行ってきました。明石シネマクラブの例会は、

会員でなくても有料で鑑賞することができるので、今まで何度か行ったことがあります。そのたびに思うことは、会場の設備や椅子が整っていることです。加古川には、300人くらいが入れる中規模の専用ホールが無いので、うらやましく思います。

加古川シネマクラブの人は5、6人来ていたようです。

さて、肝心の作品は、かなりロックでポップな歌詞の歌を唄うロンドンの老人合唱団を舞台に、病気だけど明るいおばあちゃんと、その介護をする気難しい頑固なおじいちゃんを描いた作品。全体にまとまった良質の映画でした。英国の名優テレンス・スタンプとパネッサ・レッドグレイブの演技が映画の質を高めていた。

おじいちゃんというのは、ロンドンでも頑固で扱いにくい種類の人なのだということが印象に残った。婦全体にまとまった良い作品でした。



明石シネマクラブ例会会場「子午線ホール」

明石シネマクラブ例会情報

■名称／『飛べ!ダコタ』(2013年、日本、109分)

■日時／8月19日(火) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスパシア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。(2015年5月まで、好評であれば延長します。)

■受付／会場受付で、①加古川の会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 155 人(5月23日現在)